

# 青少年

第63号

令和7年2月1日

塩尻市教育委員会  
交流文化部  
社会教育スポーツ課 社会教育係

〔発行〕 塩尻市青少年育成センター（塩尻総合文化センター内） 電話 0263-52-0894 FAX.0263-53-7604

## 松本山雅キッズスポーツ教室 を開催しました



11月30日（土）に塩尻市青少年育成委員協議会・子ども会育成連絡協議会共催イベント『松本山雅キッズスポーツ教室』を開催しました。

このイベントは、日頃から地域の見守り活動や、地区行事の支援を行っている両協議会委員のみなさんと、塩尻市内の小学生を対象に、今年度初めて企画しました。始めに青少年育成委員協議会の平林副会長より、「私たちはみなさんの学校や通学路でオレンジベストを着て見守り活動を行っています。見かけたら元気に声をかけてください」と挨拶がありました。



松本山雅キッズスポーツ教室開会式

今回、講師として、松本山雅からクラブプロモーション担当の片山さん、他2名のスタッフの方と、クラブ公式マスコットのガンズくんにお越しいただきました。

朝から元気いっぱい片山さんとガンズくん、最初は少し緊張気味だった子どもたちですが、準備体操を兼ねてボールを使っただるまさんが転んだをしているうちに笑顔が見られるようになりました。

その他、用意してもらったゲームはどれもチームワークが必要となるもので、その日初めて会った仲間や両協議会委員の方ともお互いに声をかけ合い、協力して楽しくスポーツで交流を深めていました。



## 頑張れ、松本山雅!!

最後に松本山雅のグッズが当たる抽選会と、塩尻市出身の樋口選手のサイン入りフラッグを持って記念撮影を行い閉会となりました。グッズを手に嬉しそうに会場を後にする子どもたちとは対照的に、体がガチガチだよ、と苦笑いをする育成委員の方もいました。お互いに顔を覚える機会を持つことは、子どもたちの日々の安全・安心にもつながります。御参加、御協力いただいた皆様ありがとうございました。

## イベントに参加して

寒い中、11名の子どもたちと松本山雅の片山さんらスタッフの方の指導で楽しく体を動かすことが出来ました。

普段の育成委員の活動は、あいさつ運動や通学路の見守りなどを行っていますが、子どもたちと一緒に体を動かす機会はありませんでした。今回は子どもたちにとってもいい経験になったと思いますし、私たちも元気をもらいました。今後このような場を作りたいだけだと思います。



塩尻市青少年育成委員協議会副会長  
平林 昌利(左)

## 樋口 大輝 選手 プロフィール

### 塩尻市出身(23歳)DF

＜過去の所属＞

- ・アンテロープ塩尻ジュニア
- ・アンテロープ塩尻Jr.ユース
- ・松本山雅FC U-18
- ・専修大学
- ・2023年松本山雅特別指定選手



©2011YAMAGA

一年間応援ありがとうございました。  
塩尻市民のたくさんの方に声をかけていただき、とても嬉しかったです。  
塩尻市出身の自分が活躍することでもっと盛り上がるし、盛り上げたいと思っているので、塩尻を背負って頑張りたいと思います。  
今シーズンはとても悔しい思いをしたので、来シーズンは笑って終わられるようまた皆様に力を貸していただければと思います。これからも応援よろしく願います。  
樋口 大輝

今シーズン松本山雅に新加入した塩尻市出身の樋口大輝選手。プロ一年目にもかかわらず、33試合に出場し、6得点を挙げる大活躍を見せてくれました。今シーズン最終戦の、カタレ富山とのプレーオフ決勝で決めたゴールは、記憶に新しいところです。そんな樋口選手から、塩尻市のみなさんへ、今シーズンの応援に対する感謝のコメントをいただきました。

★輝く期待の星★

また、桔梗小学校では「キッズお仕事チャレンジ2024」に参加の機会を得、その一つ「菓子職人さん」の「ねりきり」創作実技を子どもたちの背後で見学。子どもたちの興味津々食い入るようなひとみの中で、職人さんの熟練の手さばきから、梅の花、福寿草、あけび、柿など次々に

少年の健全育成の一環として、子どもたちの輝けるひとみを育む一連の支援活動を進めています。この活動の中に輝ける眼(まなこ)にまぢかに接する機会があり紹介します。  
昨春秋、広丘小学校の「2年生九九先生」(地域ボランティアによる)では児童一人一人が順番で「七の段の上りをやります」などと宣言し、暗算で答えていきます。吸い込まれるような真剣なまなざしに打たれました。称賛のスタンプが増えるごとに上達が実感できました。



塩尻市  
青少年育成委員協議会  
会長 薄田 利秋

『♪輝ける眼育む』  
まなこ

母校の学生  
歌のワンフレーズです。未来を拓く若者への願いが込められています。  
私たちは、青

生み出され、その度に子どもたちから大きな拍手、驚きの声が上がりました。学びのだいご味です。  
更に、広陵中学校では、広丘・高出地区の育成委員合同で一斉下校に合わせあいさつ運動、ティッシュ配布を行いました。私たちの呼びかけに生徒たちの「ご苦勞様です!」「ありがとうございます!」など元気な反応とともに、彼らのアイコンタクトに活力をもらいました。  
近時、インターネット、スマホなど情報通信ツールが幅広い年代層で活用される一方で、人と人の対面でのコミュニケーション機会は減少しているようです。このような環境下、子どもたちと直に接し交流し、お互いに学び合いの機会をもつことは地域のコミュニティ向上のためにも大切なことと思います。新たな体験や多様なつながりを通して、次代を担う子どもたちの輝ける眼差し、明るい笑顔、生き生きとした姿と出会える活動を楽しみ進めていきます。



## 青少年育成 委員の活動



今年度の青少年育成委員は、各区からの推薦により市長から委嘱を受けた60名で構成され、14班に分かれて各地域で活動しています。

主な活動は、地域内の小中学校であいさつ運動や通学路の見守り、各強調月間に合わせて啓発活動などを地域の実情に合わせて行いました。

委員の方は、ボランティア共済に加入し、活動の際は、支給されるオレンジ色のベストとたすきを着用して、委員証を携帯しています。

年々子ども数は、減少傾向にあります。子どもに対する声掛け事案の多くが登下校時の通学路で発生しています。子どもたちがこうした犯罪被害に遭わないよう、今後も見守り活動を続けるとともに、地域のみなさんも散歩をしながら、農作業をしながらなど「**ながら見守り**」にご協力をお願いします。



令和6年度班別活動実績

|             |     |
|-------------|-----|
| あいさつ運動      | 9回  |
| 通学路見守り      | 22回 |
| 啓発活動        | 4回  |
| 付き添い下校      | 2回  |
| ゲームセンター等の巡回 | 3回  |

## 駅前街頭啓発活動を行いました

7月1日(月)に、JR塩尻駅、広丘駅、木曽平沢駅で「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に伴う街頭啓発活動を行いました。7月の強調月間のスタートにあたり、地域住民が青少年の非行に対する共通の理解と認識を深め、地域ぐるみで非行防止の徹底を図るため、法務省主唱の「社会を明るくする運動」と連携して実施しました。

朝の通勤・通学の時間帯に、駅を利用する人たちにポケットティッシュとリーフレットを手渡し、活動に対する理解を呼びかけました。

開始前から雨が降り出し、足早に通り過ぎる人もいましたが、高校生に「行ってらっしゃい」「気を付けてね」と声をかけると、「ありがとございます」と笑顔で受け取ってくれました。忙しい時間帯の束の間の交流でしたが、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのために、今後も他団体と連携をとりながら活動を続けていきたいと思っています。



## 青少年健全育成3団体合同 研修会を行いました

9月26日(木)に、塩尻少年警察ボランティア協会、子ども会育成連絡協議会、青少年育成委員協議会合同の研修会が総合文化センター講堂で行われました。

当日の講師は、伊那市にあるNPO法人「子ども・若者サポートはみんな」の理事長戸枝智子様をお迎えし、『子どもが生き心地よく育っている地域のあり方』と題して講演を行いました。戸枝さんは、自身が子育てで思い悩んだ時期に、地域の人たちや子育てサークルの仲間に救われた経験から、家庭や学校以外の子どもたちの第三の居場所づくりと保護者のサポートの必要性を感じ、不登校支援を始められました。現在伊那市には、年代に応じたサポート施設があり、社会とつながりにくさを感じる若者が安心して過ごせる場所を提供し、様々な経験を通して一人一人が夢や希望をもつて前に進めるよう支援をしているそうです。



## ■塩尻少年警察ボランティア協会 との合同巡回

10月4日(金)に、広丘地区の青少年育成委員と塩尻少年警察ボランティア協会、塩尻警察署から2名同行していただき合同巡回を行いました。当日は、広丘ショッピングセンターギャザに夕方4時に集合し、巡回ルートの確認を行ってから施設内の店舗を回りました。平日で時間も早かったため、いずれの店舗も子どもの姿は少なく、特に目立った点はありませんでした。

その後、広丘駅に移動し駅前の駐輪場の無施設自転車チェックを行いました。自転車により施設箇所や方法が異なり、判断が難しいものもあり、何人かで確認しながら行いました。無施設の物には施設を促すステッカーをハンドルに取り付けました。続いて、北部交流センターえんてらすに移動し、勉強をしている高校生などの姿も見られたので、邪魔にならないようあいさつをしながら施設内と駐輪場を巡回しました。



## ■中信4市青少年補導センター 連絡会議が行われました

10月31日(木)に、中信4市青少年補導センター連絡会議が松本市立博物館を会場に行われました。この会議は、松本市、安曇野市、大町市、塩尻市の青少年補導委員代表者と事務局担当者が集まり、各市の青少年育成活動に対する意見交換の場として毎年開催されています。

最初に、昨年の10月に移転開館した松本市立博物館を、学芸員の方に説明を受けながら見学しました。館内には、美術品などの展示スペースの他に、子ども体験広場や交流学习室が設けられており、下校後の高校生が机に向かう姿が見られるなど、広く市民に開放されている印象を受けました。

その後の会議では、子どもを取り巻く現状等について、長野県次世代サポート課の中山様からお話をいただき、各市からの活動発表と事前提案された議題に対する意見交換を行いました。



## 巡回活動における工夫や 改善点について

● 昨年見直しを行い、子どもがいる場所を巡回し、下校時間帯にあいさつ運動や通学路巡視、環境整備などを行っている。抑止という観点で見守りを続けている。  
(大町市)

● 地域では子どもに会わないこともあるが、学校や児童センターを巡回し職員と情報交換することで現在の子どもの様子を聞くことができる点で意義があると感じている。  
(松本市)

## スマートフォン等の普及により表面に 出にくい問題行動の対処について

● 市広報誌に掲載しているセンターだよりで、大人も一緒になってネットについて見直すきっかけになるように意識して記事を作成している。  
(安曇野市)

● 補導委員へは、現在の子どもの実態を学ぶ研修会等を実施している。市の事業としては、学校ごとに子どもや保護者に対して、メディアリテラシー講座の講師を派遣している。  
(松本市)

● 今年度まで情報モラル講座を市内の小学生と保護者向けに行ってきたが、4年計画で今年度が最後となるので、新たなテーマで市民のニーズに合った講座の開催を検討している。  
(塩尻市)